

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成15(2003)年度第1回相互協力委員会議事録

日 時：2003年6月5日(木)13時～14時40分

場 所：南山大学名古屋キャンパス 図書館1階会議室

出席者：鈴木卓美(金城学院大学)長坂功・浜口庸介(愛知大学) 足立祐輔(愛知学院大学) 丹羽直美(愛知学泉大学) 北出幸夫(椋山女学園大学) 西本和雄(中京大学) 蓑島智子(中部大学) 岩田真美(南山大学) 時實育代(日本福祉大学) 水野仁子(名城大学) 松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学)

計12名

(前委員長・長坂氏は引継ぎのため出席、北出氏は柴田委員の代理で出席)

記 録：松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学)

【協議事項】

1. 委員役割分担について、以下のように決まった。

会計：岩田(南山大)

書記：蓑島(中部大)、松永(鈴鹿医療大)

2. 2003年度委員会開催日程について

第2～6回目の委員会開催日程を暫定的に決定し、合同委員会で調整することとした。また、「今年度はすべて合同で午前中から開催したい」と委員長より提案があった。

3. 2003年度活動計画について

上記について、長坂前委員長から資料に基づき説明があった。

その後、今期の活動計画として次のように協議された。

ア) 相互協力情報交換会実施について

情報化委員会との合同で、毎年実施を試みてもよいのではという提案があり、協議された。なお、担当者は次の3名に決定した。

・時實(日福大) ・丹羽(愛泉大) ・柴田(椋山)

12月開催予定のため、早速活動を開始して頂くこととなった。

イ) 相互協力実務担当者研修会実施について

情報化委員会との合同実施を試みてもよいのではという提案があり、協議された。なお、担当者は次の3名に決定した。

・足立(愛院大) ・浜口(愛大) ・西本(中京大)

今年から会場探しなどの活動を開始して頂くこととなった。

ウ) データベース共同トライアル及び合同説明会の開催について

委員長より昨年4社に加え、数社と現在交渉中との説明があり、本年度も昨年と同様な時期、および、方法で実施したいとの説明があった。次回7月の委員会では、案内状送付の作業を委員全員で行い、11月上旬～中旬頃には説明会を開催する方向で実施することとなった。

エ) 一般開放状況の再調査及びホームページの更新について

最新データの維持・更新を行って頂くため、依頼状を各図書館へ送付

することとなった。ただし、依頼文は作成するが私立大学図書館協会東海地区協議会理事校名にて発送出来るように、委員長から理事校へ提案して頂くこととなった。

なお、会議録など相互協力委員会のＨＰのデータ管理の担当は、次のように決定した。

- ・ 水野（名城大）

オ)「紀要・学内学会誌分担保存協定」の維持及び充実について

引き続き東海地区協議会ホームページ上で維持を行うこととした。なお、その他の分担保存については、各大学とも資料保存のスペース確保が深刻な問題となっており、貸し倉庫、分担保存についても今後重要なテーマになるのではないかという意見が出された。

カ) 相互協力事業の推進及び見直しについて

具体的な推進案があれば取り上げていきたい、横断検索も推進の一助になるのではと委員長より意見があった。

キ) 情報化委員会及び研究会との連携について

相互協力委員会の研修会を情報化委員会の見学会のような形式で行い、更に合同で開催してはどうかという提案があった。しかし、研修会と見学会を同時に開催する事は難しいとの意見も出された。

また、レファレンス事例集やリンクデータベースなどの維持・管理については、研究会に依頼する方向で考えたいと委員長より説明があった。詳しくは、合同委員会の際に協議することとした。

ク) 他地区及び機関との交流について

他地区から講師として招待したい方がみえる場合は、協議し、早速交渉をすすめていこうということになった。

ケ) その他

長坂前委員長より横断検索について、前委員会ではアンケートを行った結果、「館灯」に相互協力の統計を掲載したとの報告があった。横断検索、物流についてのヒアリング結果も合わせて各委員に配布し、感想を聞いてみてはどうかという意見が出された。

4 . 2003 年度予算について

上記について、資料に基づいて委員長より説明があった。

委員会の公印の入れ物が無いため、紛失防止のためにも購入したいと委員長から要望があり、了承された。

最後に、本年度より本会計について予備費が導入されたので、もし予算が不足し、理由が明確な場合には常任幹事会に申請することも可能であるので、実際に執行された会計報告に変えていきたいと委員長より補足された。

5 . その他

委員会ＨＰ（<http://www.jaspul.org/w-kyogikai/tokai/sogo/index.html>）をまだご覧頂いていない委員の方は、ぜひ確認して頂くよう促された。

以上

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成15(2003)年度第1回情報化委員会・相互協力委員会合同委員会議事録

日 時：2003年6月5日(木)15時～17時

場 所：南山大学名古屋キャンパス 図書館1階会議室

出席者：

- ・情報化委員 三浦文博・水野玲子(愛知大学) 広瀬久美子(愛知学院大学)
有田哲治(愛知工業大学) 山本祐子(朝日大学) 春日井正人
(中京大学) 古田明彦(中部大学) 川上雅子(豊橋創造大学)
柿原明子(名古屋経済大学) 石井知好(南山大学)
- ・相互協力委員 鈴木卓美(金城学院大学) 浜口庸介(愛知大学) 足立祐輔(愛知
学院大学) 丹羽直美(愛知学泉大学) 北出幸夫(椋山女学園大学)
西本和雄(中京大学) 蓑島智子(中部大学) 岩田真美(南山大学)
時實育代(日本福祉大学) 水野仁子(名城大学) 松永ひとみ(鈴鹿
医療科学大学) (北出氏は、柴田委員の代理で出席) 計21名

記 録：松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学)

【協議事項】

1. 2003年度合同委員会開催日程について

各図書館で職員の人事異動が頻繁に行われていること、また、業務委託により経験豊富な図書館職員が減少している状況なので、委員を引き受けていただける図書館がなかなか見つからない状況である。そのため、情報化委員はメンバーが足りない状態となっている。また、相互協力委員会、情報化委員会では同様なテーマを扱っているのが現状なので、今期はすべて合同で活動することとし、今後はメンバーも縮小するなどして両委員会の統合を模索して行きたいと鈴木委員長(相互協力)から説明があった。

また、三浦委員長(情報化)より、例年とは順番を替え、合同委員会開催後、各委員会に分かれて協議する日があってもよいのではとの提案も併せてあった。

今年度の合同委員会日程、及び会場について下記の通り決定した。

第2回	2003年	7月25日(金)	10時～16時	会場：愛知学泉大学
第3回		10月3日(金)	10時～16時	会場：愛知大学名古屋図書館
第4回		11月20日(木)	10時～16時	会場：椋山女学園大学
第5回		12月17日(水)	開催時間 未定	会場：名城大学 (情報交換会を合同開催とする。)
第6回	2004年	2月27日(金)	10時～16時	会場：豊橋創造大学

2. 東海地区協議会ホームページについて

本年度研究会では、「レファレンス事例集」の構築と活用というテーマで活動を行うが、その中でツールを作成するグループがあるので、以下の内容について研究会に依頼してみてもどうかと提案があり、鈴木委員長より研究会へ依頼して頂くこととなった。

- ・ リンクデータベースの見直し・メンテナンス
- ・ リンクデータベースの追加作業
- ・ レファレンス事例集の維持・管理・追加

三浦委員長より東海地区協議会 HP について報告があった。

東海地区協議会の HP は私立大学図書館協会のサーバーへ移行したが、データの大半を「館灯」が占めていた。これを解消するため、NII（国立情報学研究所）の研究紀要ポータル（<http://kiyo.nii.ac.jp/>）で公開するため申請を行っていたが、NII よりデータ登録が認められたので移管することが報告された。なお、東海地区協議会 HP からは NII へリンクをはることとした。

3. 今後の委員会の運営について

次のような意見が協議された。

- ・ 情報交換会や見学会・研修会を両委員会の合同で今後は実施したい。
- ・ 分科会を開催する際、地区のベテランを数名招待し、各分科会の核としてすすめていけるような体制にしてはどうか。

委員会の ML について石井(南山大)さんより現在申請中との報告があった。理事校（早稲田大）での登録が完了次第、利用可能となる。

4. その他

各委員会報告

[相互協力委員会]

- ・ データベース協同トライアルを 9 月～11 月に実施し、説明会を 11 月に開催する予定。
- ・ 一般開放情報が古いため修正作業を依頼したい。各図書館への依頼文書は、東海地区協議会理事校名にて発送を依頼する予定である。
- ・ 「紀要・学内学科誌分担保存協定」についても同様、東海地区協議会理事校名にて文書の発送を依頼する予定である。

[情報化委員会]

- ・ HP 管理や情報交換会の担当者などを決定した。

鈴木委員長より、私立大学図書館協会協会賞審査・研究助成委員会委員として研究助成について、申請がここ数年減少しているため、研究案をお持ちの方は、ぜひ申請して欲しいという呼びかけがあった。

以上